

福祉まつりへの出展結果について

基本計画や心のバリアフリー等の周知・啓発のため、「第45回福祉まつり」に出展し、基本計画の概要や配慮事項、心のバリアフリーに関するパネルを設置しました。また、バリアフリーに関連したICT例の紹介としてコード化点字ブロックの体験や、市内のバリアフリー化整備の写真(トイレ・鉄道駅・道路など)を掲載し、どこにバリアフリーの工夫がされているか等についてクイズ形式で周知・啓発を行いました。

1 開催日程

日時:令和7年10月19日(日) 10時から16時まで

会場:けやき並木通りフォーリス前

2 実施状況

当日は断続的に雨が降る状況でしたが、73名の方にお立ち寄りいただき、展示を見たり、クイズを体験していただきました。クイズが勉強になったというご意見を多くいただいたほか、日常生活で困っていることなどについてもお話を伺うことができました。



出展ブースの様子



基本計画と心のバリアフリーに関するパネル展示



トイレ・鉄道駅・道路におけるバリアフリーに関するクイズ



コード化点字ブロックの紹介

3 アンケート結果

府中市の取組や考え方に関する理解度についてアンケート調査を行い、12名の方々から回答を頂きました。

【アンケート結果の集計】

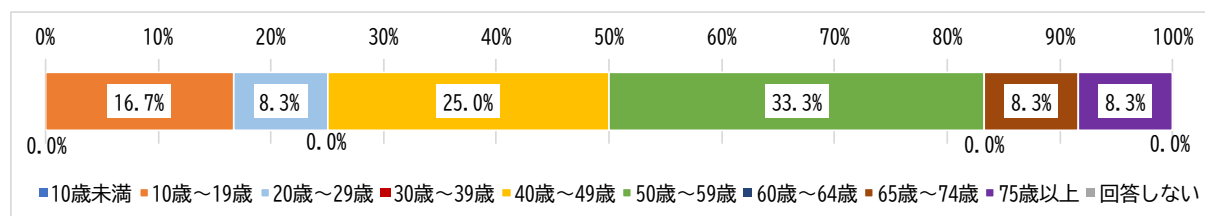


図1 年齢

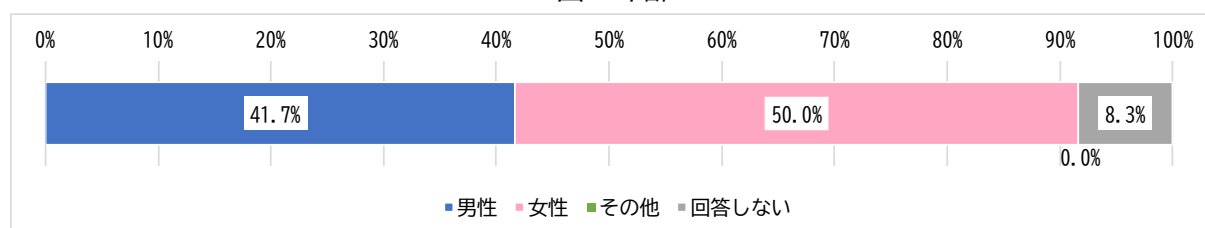


図2 性別

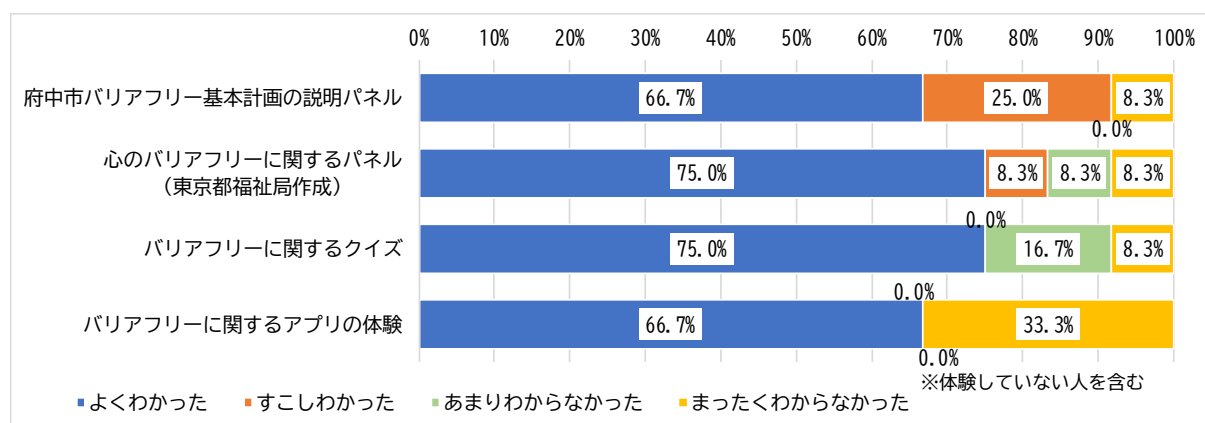


図3 理解度

【主なご意見(現地で聞き取った内容も含む)】

- ・ 狭い歩道では、歩道ブロックや段差、木の根上がりなどでつまずく。
- ・ 信号がすぐに赤になってしまい、車椅子や高齢者が渡りきれない。
- ・ 車椅子の人は歩道と車道との段差が高く、登れない。特に、府中駅のバスロータリーの降車場は縁石の段差が高過ぎて登れない。
- ・ 雪が降ると、アイスバーンになって危険なところがある。
- ・ 雨の日には、石・タイル舗装・ゴム等の歩道の材質や、落葉によって滑って転んでしまう。
- ・ あんず通りの歩車道の切下げが車椅子だと通りにくい。
- ・ 中河原駅の北側にある歩道橋は、バリアフリーになっていない。
- ・ けやき並木通りは、視覚障害者誘導用ブロックの凹凸と舗装の凹凸の区別がつかない。
- ・ すずかけ通りがでこぼこで歩きにくい。
- ・ 公園入口の車止めのせいで大型車いすが通行できない。
- ・ 自転車のマナーが悪い。
- ・ 視覚障害者が読めるように、資料や書籍等の DAISY 図書(国際標準規格のデジタル録音図書)化を進めてほしい。
- ・ 今後のバリアフリーの推進に期待する。
- ・ 府中市における取組をよく理解できた。クイズはよく練られていて、駅やトイレ、道路など気付きの多い内容だった。